

## LPガスCP速報(2019年7月積)

### 1. 7月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **375**  $\text{ドル}$  (前月比-55  $\text{ドル}$ )

ブタン **355**  $\text{ドル}$  (前月比-60  $\text{ドル}$ )

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が軟化するなか、供給は米国産が潤沢、インドの7月積みキャンセルで中東産ガス国の前倒しの積み要請もあるなど需給緩和が顕著となった。

中東市場は、インド需要が減退、米国産がプロパンだけでなくブタンも流入し需給は緩和、第3週には、原油市況の急落を受けて、CP先物、CFR市況も大幅に下落、極東CFR市況はプロパン405  $\text{ドル}$ 、ブタン385  $\text{ドル}$ まで下げた。フレート市況は米国回航船の増加とインドの滞船により高騰、更に、ホルムズ海峡のタンカー攻撃で原油市況反騰とともに続騰、80  $\text{ドル}$ 弱に達したが、CFRはコスト上昇転嫁に向かうもののCPネットで下押し要因となった。

全米プロパン在庫は、輸出が増加し高水準(グラフ①)となったものの、需要がピークを過ぎ大幅に減少、生産量が製油所稼働率上昇で増加、在庫は増加が続き21日時点で前年同期を30%上回っている。米モンベルビュープロパンスポット価格は、原油市況に追随、12日には200  $\text{ドル}$ まで急落、月間平均では223  $\text{ドル}$ どころで前月比75  $\text{ドル}$ の下落。

ナフサは原油に追随し急落、月間平均は480.8  $\text{ドル}$ 、前月比75.8  $\text{ドル}$ の大幅続落。バンカーC重油は原油に連れ安、月間平均で386.2  $\text{ドル}$ どころ、前月比32.6  $\text{ドル}$ 安。

7月CPは前年同月比プロパン180  $\text{ドル}$ 、ブタン215  $\text{ドル}$ それぞれ安い。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン1.5ポイント、ブタン3ポイント下落、前年同月比ではプロパン17.5ポイント、ブタン24ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	64.2	67.4	75.1	79.7	71.6
CP先物指標：P	385	370	355	375	371
CP先物指標：B	370	350	335	355	353

#### ② 原油市況等

WTI市況の推移をみると、1日の53.25  $\text{ドル}$ から米中貿易摩擦、対メキシコ報復関税、原油在庫増加等で12日には1月14日以来の51.14  $\text{ドル}$ まで下げたが、オマーン沖で日本のタンカー攻撃、イラン革命防衛隊による米無人偵察機の撃墜、トランプは10分前にイラン空爆停止命令を出すなど中東情勢が緊迫化、急反騰した。21日にはフィラデルフィア製油所火災でガソリンシーズンの供給懸念が高まり製品、原油市況も続騰。OPECプラスの協調減産継続観測、米中貿易協議に不透明感もありボラティリティが高くなってきた。

一方、米国内原油生産量は過去最高(1,240万b/d)記録後、3週連続で減少も高水準を維持。原油輸出は増加し過去最高を更新377万b/dに達し(グラフ③)、ガソリンシーズンで製油所稼働率が上がり原油在庫が2週連続で減少したが、直近の在庫は対前年同期比112.7%まで積み上がり供給過剰感。米石油リグ稼働数は減少、直近で前年同期を65基下回る793基となった。

NYMEXのWTI総取組高は市況急落で減少し一時200万枚を割り込み、CFTC発表の大口投機玉の買越残高も減少が続き11日時点では352千枚と3月以来の水準まで減少。25日時点の買越残は379千枚、買建玉が497千枚に減少、売建玉は11日までに164千枚に増加したが市況急騰後118千枚まで減少、手仕舞いの買戻し。

○6月積みアラビアン・ライト(6月1~28日の想定)は63.40  $\text{ドル}$ (前月比-7.68  $\text{ドル}$ )

熱量等価AL100% プロパン519.81  $\text{ドル/トン}$  ブタン512.68  $\text{ドル/トン}$

AL比 プロパン72.1% ブタン69.24%

\*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

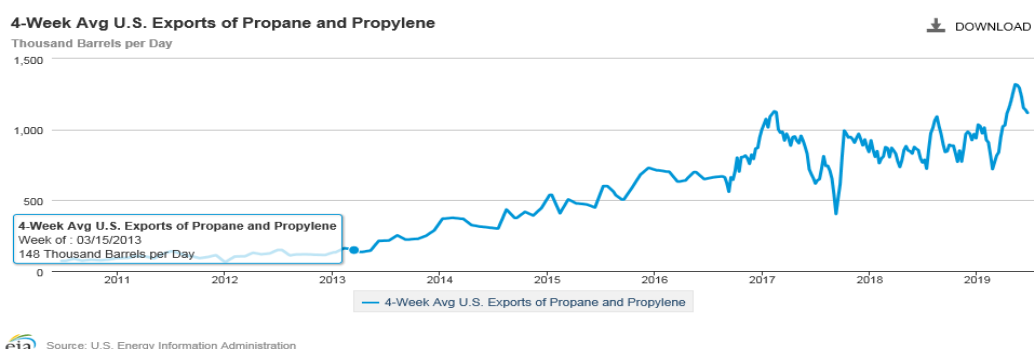
## 2. 2019年7月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	T T S	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	109.93	50,600	48,600	48,700	-8,800	-10,200	-8,800
②末日締め	109.12	43,900	42,000	41,500	-9,000	-10,400	-8,900

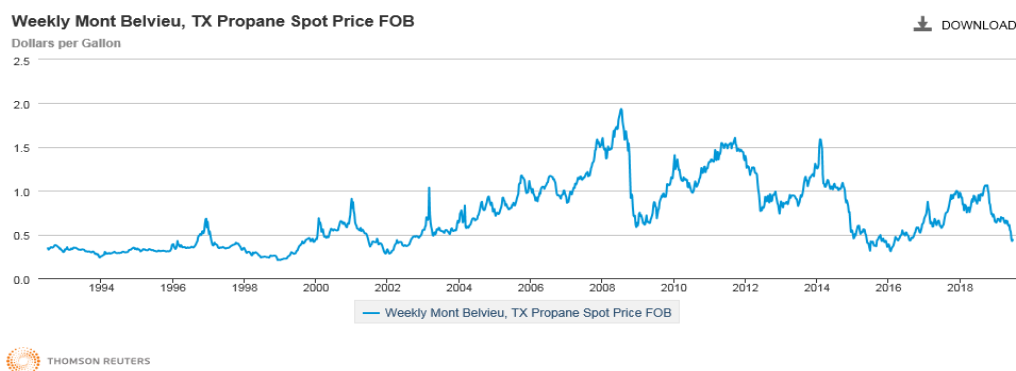
\* T T S平均について、①が5月21日～6月20日、②6月1～28日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは6月24日までの価格を基にE I Nで試算（223ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切等の詳細はW e bサイトを参照。

### ①米プロパン輸出量推移



### ②MBプロパンスポット価格推移



### ③全米原油輸出量推移

